

■オプション部品(別売)について

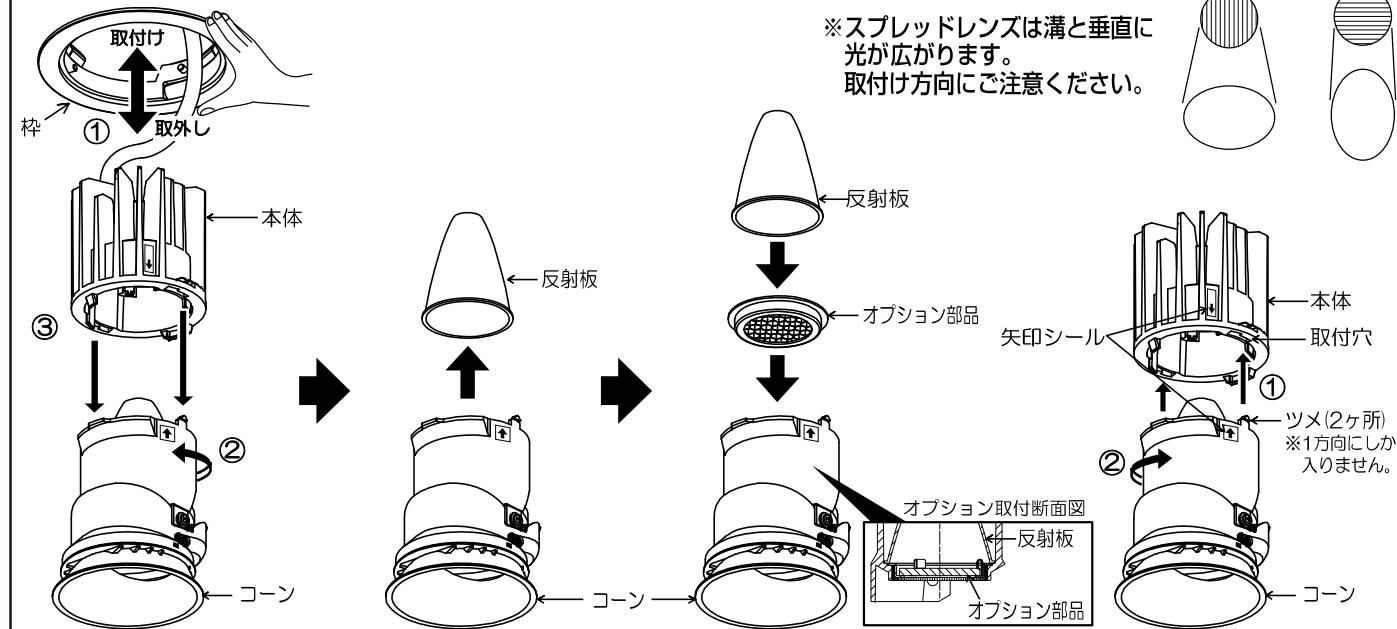
●オプション部品(別売)を取付けることができます。

- ・枠を手で押さえて、本体を垂直に立てた状態で矢印①方向に引き抜く。
- ・本体からコーンを取り外す。
- ・反射板を取りはずし、コーンにオプション部品を入れてから、反射板をもどす。
- ・本体とコーンの矢印シールを合わせ、コーンのツメ(2ヶ所)を本体取付穴に入れて、矢印②方向に回して取付ける。※ツメは1方向にしか入りません。
- ・本体を垂直に立てた状態で枠に押し入れ、取付ける。

●オプション部品(別売)

XE50182E ハニカムルーバー	XE50185E ディフュージョルス	XE50188E スプレッドレンズ	XE54304 広角レンズ

※オプション部品の取付けは、器具の施工前に行なってください。
→施工後は、枠から本体を引き抜いてから行なってください。



! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- ・器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。

- ・器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。

- ・調光用電源ユニットを使用する場合、ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラ・調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

■LEDユニットについて

- ・LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。

- ・LEDのみの交換はできません。

- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。

- ・LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

- ・電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。

- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
- ・グローポン管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

型番

XD203025 ~ XD203027 XD204025 ~ XD204027	WA/WL/WM/WW BA/BL/BM/BW	W A ※1 ※2	※1 W…白色枠 B…黒枠 ※2 A…2700K / L…3000K M…3500K / W…4000K
--	----------------------------	--------------	--

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

!**警 告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。		器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。		器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	ダウントライなどの埋込タイプの器具を設置する場合は、図のように器具と断熱材・防音材との距離をとってください。 断熱材・防音材で器具本体の放熱穴などをおおわないでください。 →放熱が妨げられ器具および断熱材が過熱する原因になります。		器具を布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。 →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。		器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。 →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。

!**注 意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。		ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
	この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		アームなどの可動部のすき間に指を入れないでください。 →けがの原因になります。

注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

禁止 周囲温度5~35°C、湿度45~85%の環境以外
では使用しないでください。
→火災・感電の原因になります。

厳守 ON/OFF用電源ユニットを使用する場合は、ラ
イトコントローラなどの調光器との併用はでき
ません。→火災の原因になります。調光器の取
外しが必要です。調光器の取外しには資格が必
要です。工事店・電器店に依頼してください。

■定格

※W…白枠/B…黒枠 ※A…2700K / L…3000K / M…3500K / W…4000K

型番	使用ランプ	専用電源ユニット	定格電圧	入力電流	消費電力	
XD203025 XD203026 XD203027 XD204025 XD204026 XD204027	WA/WL/WM/WW BA/BL/BM/BW	LED	XE92185E (ON-OFFタイプ)	AC100V AC200V AC242V	0.32A 0.18A 0.16A	31.6W 31.5W 31.9W
			XE92705 (PWM/DALI調光タイプ)	AC100V AC200V AC242V	0.30A 0.15A 0.13A	29.7W 29.1W 29.2W
			XE92184E (ON-OFFタイプ)	AC100V AC200V AC242V	0.26A 0.15A 0.14A	25.9W 26.1W 26.6W
			XE92194E (位相調光タイプ)	AC100V	0.27A	26.5W
			XE92704 (PWM/DALI調光タイプ)	AC100V AC200V AC242V	0.25A 0.12A 0.10A	24.1W 23.8W 23.9W

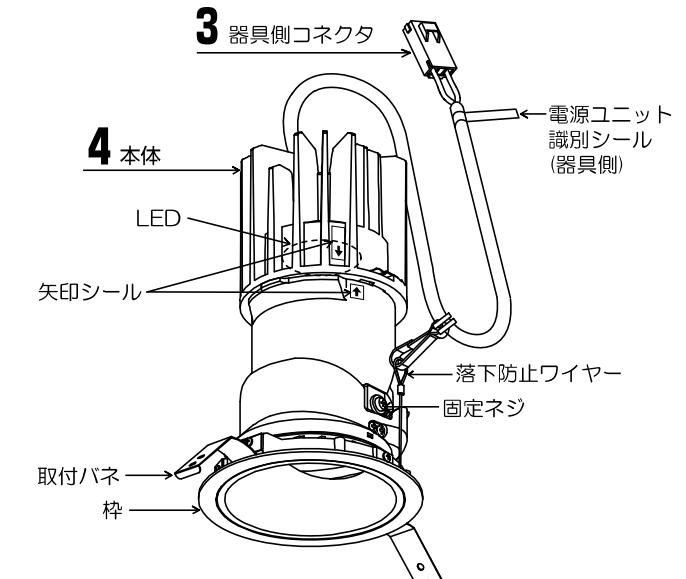
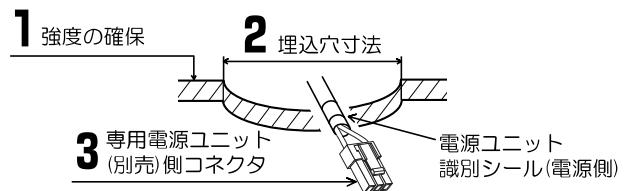
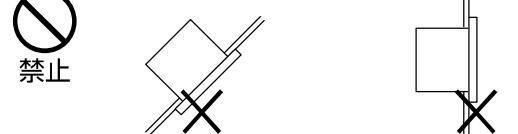
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

このような場所には取付けないでください。

傾斜天井

壁面



1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の
強度を確保する。

2 天井に埋込穴を開ける

埋込穴寸法	天井材厚
φ100 ⁺² ₋₀	5~25mm

3 コネクタを接続する

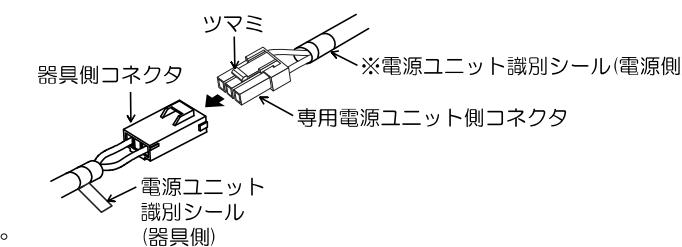
専用電源ユニット(別売)を設置する。(専用電源ユニット)の設置は専用電源ユニット側の説明書を確認してください。)

専用電源ユニット(別売)の型番と、器具側の適合電源を確認し、器具側と専用電源側のコネクタを確実に差し込む。

はずす時はツマミを押しながら抜く。

※電源ユニット識別シール(電源側)がある場合は、器具側、電源側の表示を確認し、コネクタを確実に差し込んでください。

※必ず電源を切った状態でコネクタを接続してください。



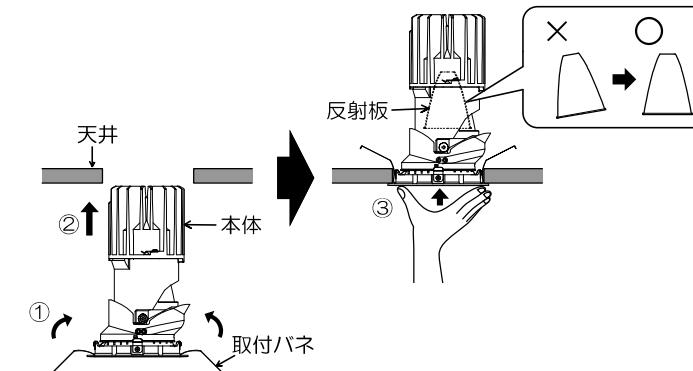
△警告 電源の接続を確実に行ってください。

接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合は、火災・感電の原因になります。

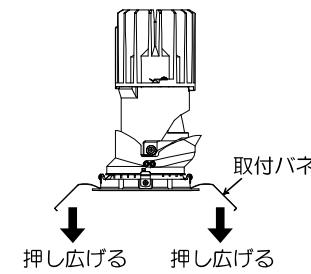
4 本体を取り付ける

取付バネを矢印の方向に押さえ、本体を天井穴に入れ、水平に押し上げる。

※本体を取り付けた後、反射板が傾いていないか確認してください。傾いている場合は反射板を元の位置にもどしてください。



※天井材厚が薄い場合、天井との間に隙間が空くことがありますので、この場合は一度取付バネを押し広げてから埋込穴に挿入してください。

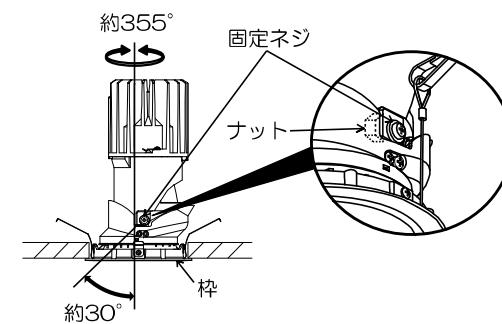


5 点灯の確認を行なう

■照射方向の調節について

●照射方向を調整する場合は枠を持って行なってください。指定範囲以上、無理に動かさないでください。

※上下可動がゆるんだ場合は、固定ネジ後ろのナットを押えて固定ネジを締め付けてください。



■照射距離について

●照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。被照射面との距離は0.3m以上離してください。

